

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2012年2月

NO. 227

TOPICS

「共感のコミュニケーションの時代」

(社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 清水 正道

MESSAGE P3

「【重要】次期役員(理事)選挙について」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2011

マネジメントコース 科目4を開講

～2月、3月の科目別講座受講受付中～

ATTENTION P5

社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

2月号 目次

2月～3月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「共感のコミュニケーションの時代」	3
ATTENTION(お知らせ)	「【重要】次期役員(理事)選挙について」	4
〃	「広報PRアカデミー2011 マネジメントコース 2月、3月科目別講座の受講受付中」	5
BULLETIN(活動報告)	「広報PRアカデミー2011 PRプランナー試験対応講座に受講者集まる」	6
PR TREND(PRトレンド国内)	「日本記者クラブ恒例「予想アンケート」2012年はどうなる？」	7
〃	「ELTトレンド指数で見るキーワード・ランキング2011年12月度」	8
〃	「2012年の注目キーワードと2011年のキーワード・ランキング」	9
表4		

2月～3月スケジュール

広報PRアカデミー2011 「マネジメントコース」

- 科目5
「CSR活動と連携した
広報・PRマネジメント」
日時：2月8日(水) 19:00～21:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：帝人(株) 広報・IR室長 宇佐美 吉人氏
- 科目6
「広報・PRマネージャーのための
IRマネジメント」
日時：2月22日(水) 19:00～21:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：東レ(株) IR室長 神山 健次郎氏
- 科目7
「広報・PRマネージャーのための
グローバル広報マネジメント」
日時：3月7日(水) 19:00～21:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：筑波学院大学 経営情報学部 教授 大島 慎子氏
- 科目8
「広報・PRマネージャーのための
Webとソーシャルメディア活用マネジメント」
日時：3月21日(水) 19:00～21:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：クロスメディア・コミュニケーション(株) 代表取締役 雨宮 和弘氏

「PRプランナー試験対応コース」

- 第2日
「メディアリレーションズ」
「マーケティングとPR」
日時：2月7日(火) 19:00～21:30
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：(株)プロペラ・コミュニケーションズ 代表取締役 永井 昌代氏
- 第3日
「インベスターリレーションズ」
「エンployerリレーションズ」
「ネットPR」
日時：2月14日(火) 19:00～21:30
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：(社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長
教育研修・資格制度担当 真部 一善
- 第4日
「企業の危機管理」
「行政・団体等の
パブリックリレーションズ」
「国際広報」
日時：2月21日(火) 19:00～21:30
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：(株)プロペラ・コミュニケーションズ 代表取締役 永井 昌代氏
- 第5日
「PR活動のマネジメント」
「パブリックリレーションズと倫理」
「資格制度説明、質疑応答 他」
日時：2月28日(火) 19:00～21:30
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：(社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長
教育研修・資格制度担当 真部 一善

第137 回定例研究会

- 日時：2月14日(火) 12:00～14:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：日本経済新聞東京本社 編集局「日経産業新聞」編集長
井口 哲也氏
テーマ：「日本経済新聞 産業部の役割と現場の記者に託していること」

なでしこカウンスル

- 日時：2月21日(火) 19:00～21:00
会場：アルソアねむの樹トラスト東京研修室
講師：毎日新聞 編集局 編集総センター 記者 上杉 恵子氏
テーマ：「新聞記者から広報ウーマンにしてほしい、してほしくない…こと」

第10回PRプランナー資格 検定1次試験

- 日時：3月4日(日) 10:20～
会場：明治大学リバティータワー(東京)
毎日インテシオ(大阪)
福岡建設会館(福岡)

第138 回定例研究会

- 日時：3月22日(火) 12:00～14:00
会場：六本木アカデミーヒルズ 49
講師：テレビ東京 WBSプロデューサー 大信田 雅二氏

2月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（2月度）	日 時	： 2月8日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ
組織委員会（2月度）	日 時	： 2月16日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
国際委員会（2月度）	日 時	： 2月20日（月） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
教育委員会（2月度）	日 時	： 2月1日（水） 11：00～13：15
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（2月度）	日 時	： 2月23日（木） 15：00～17：00
	場 所	： 協会会議室
出版委員会（2月度）	日 時	： 2月14日（火） 17：00～19：00
	場 所	： 協会会議室
顕彰委員会（2月度）	日 時	： 2月22日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
資格制度委員会（1月度）	日 時	： 2月23日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（2月度）	日 時	： 2月15日（水） 16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
IT委員会（2月度）	日 時	： 2月3日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室

予 告

通常総会開催

日 時： 2012年5月30日（水）
通常総会 17：00～ / 懇親パーティ 19：00～

会 場： 六本木アカデミーヒルズ 49
通常総会 「スカイスタジオ」
懇親パーティ 「タワーホール」

共感のコミュニケーションの時代

(社)日本パブリックリレーションズ協会
理事 清水 正道

私どもの大学(淑徳大学 国際コミュニケーション学部)で、学生のキャリア教育担当を拝命して8年になる。

昨今の就職難という事情がある。“就職難”という言い方には注釈が必要だが、学生の確保と並んで就職支援との2課題をクリアすることなくして、我々の明日はないだろう。このことから従前の常識を破るべく、一昨年来、キャリア教育体系の再構築に取りかかっている。

2011年春から使用し始めた自主制作テキストには、学生自身に25歳や35歳の自分がどんな仕事や生活をしているか、その「未来予想図」を書かせる頁がある。大学1年生の彼らに社会人となった自分を想像してもらい、その未来からバックキャストして今の自分を見つめ直してもらおうという狙いだ。ここでも概して、男子より女子の方がよく書き込んでいる。母親、仕事人、職人……結構、多彩な未来女性がそこに描かれる。

それでは、社会人はどうだろうか。なかでも社会の中枢を担う企業人は、どうだろうか。未来への視点移動を通じて、新しい世界を未来予想図に力強く書き込んでいるだろうか。日本企業は広告や広報で力強いメッセージを発信してきただろうか。発信もなくはない。しかし、記憶に残るようなメッセージは思い出せない。

学生にとって、未来の自分を予測しデザインすることがキャリア形成の動機となるように、企業人も未来の企業や仕事を予測しデザインし、ステークホルダーと共有することが求められているのではないだろうか。東日本大震災被災地域の地元記者は、大企業よりも中堅・中小の事業者の方が、NGOなどと協働しながら、具体的な復興構想や支援の仕組みに知恵を絞り成果を上げているようだ、と言う。

1901年1月2日と3日付け報知新聞には「20世紀の予言」が掲載されていた。その23分野の予言のうち「携帯電話による国際通話」「エアコン」「通信販売」「鉄道の高速度」「人工光による植物栽培」など17分野が何らかの形で実現し、「野獣の滅亡」や「人と獣の会話自在」など6項目が外れただけだった(平成17年版科学技術白書)。

みんなが望むこと(欲求)は実現度が高いのである。つまり、技術予測だけでは未来社会は描ききれないが、人びとの欲求を掴み、デザインし、人びとと共有してはじめて、未来社会の姿や仕組みを見定めていくことができる、ということではないのか。米国IBMやコカ・コーラ、独シーメンスなどは、未来社会像を描き、そこに向けての戦略をウェブやシンポジウムを通じて社会とのコミュニケーションに努めている。

最近実感した話だが、説得のコミュニケーションの時代から、共感のコミュニケーションが求められる時代にさしかかっているのではないか、と思う。

重 要

次期役員(理事)選挙について

現役員(理事・監事)の任期満了に伴い、次期理事候補(14名)を選定するための選挙が始まります。今年度は2月中旬告示、3月上旬投票・候補者案決定となります。

なお、関西部会理事2名、有識者理事(個人正会員B)1名、常務理事(常勤)1名、監事3名は選挙は行わず、理事会審議のうえ候補者を決定し、上記14名とともに通常総会において会員の信任投票により選任します。

理事選挙に関連するスケジュール予定は以下の通りです。
会員各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 2月6日(月) 第1回選挙管理委員会
 - ・スケジュール確認、委員長の選出、文書等のチェック
- 2月10日(金) 立候補公募案内文書発送予定
- 2月24日(金) 立候補受付締め切り予定

- 2月27日(月) 第2回選挙管理委員会
 - ・立候補者確認
- 3月5日(月) 投票依頼(投票用紙等一式)発送予定
- 3月15日(木) 投票締め切り(当日消印有効)

- 3月21日(水) 第3回選挙管理委員会
 - ・開票・集計、結果確認

- 3月22日(木) 理事・監事へ選挙管理委員長名で結果報告(メール)

- 3月23日(金) 選挙開票結果を、『PR協会ニュース・号外』にて会員へ報告

- 4月初旬 協会ニュース4月号に再掲載
- 4月11日(水) 4月度理事会にて審議

- 5月30日(水) 通常総会にて選任
※新体制発足

広報PRアカデミー2011

マネジメントコース「科目4 広報・PRマネージャーのためのマーケティングとブランドのマネジメント」を開講 — 2月、3月の科目別講座の受講受付中—

教育委員会

さる1月25日及び2月1日、2012年が明けて初めての広報PRアカデミー2011 マネジメントコース「科目4 広報マネージャーのためのマーケティングとブランドのマネジメント」講座が、六本木アカデミーヒルズ49にて開講されました。

2回にわたる講座は、マーケティング・消費者行動・ブランド・広告分野の研究に造詣が深く、特に日本におけるブランド戦略論の権威の一人として知られる中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏が講師を担当、約20名の受講者が聴講しました。



初回1月25日の講座では、マーケティング戦略立案の枠組みであるSTP理論（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）やマーケティングミックスの4P（プロダクト、プライス、プレイス、プロモーション）などに関するマーケティングの基礎、またブランドの基本概念やある飲料メーカーが開発、商品化した缶入り日本茶を題材としたブランド構築の実例などが紹介されました。2回目となる2月1日の講座では、地方のビールメーカーが販売する地ビールの販売活性化についての課題をもとに、マーケティングの考え方をベースとした広報・PR戦略の立案についてグループ演習が行われました。演習では各グループの発表後に白熱した討論が展開されるなど、受講者の熱心な取り組みがみられました。

「マネジメントコース」では、引き続き2月、3月に以下の科目別講座の開講を予定しています。講座の詳細ならびに受講申込みについては、以下の協会Webサイトをご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/event/upper>

(事務局・真部)

■「マネジメントコース」今後のスケジュール

日程	時間	講座テーマ	講師	受講料(税込)	締切
2月8日 (水)	19:00 ~ 21:00	講座5「CSR活動と連携した広報・PRマネジメント」(講義)	帝人株式会社 広報IR室長 宇佐美吉人 氏	[講座5~講座8] ・日本PR協会会員 各9,450円 ・PRプランナー(准・補) 各12,600円 ・一般 各14,175円 (会員料金は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみ)	各科目開講の前週金曜日まで
2月22日 (水)		講座6「広報・PRマネージャーのためのIRマネジメント」(講義)	東レ株式会社 IR室長 神山健次郎 氏		
3月7日 (水)		講座7「広報・PRマネージャーのためのグローバル広報マネジメント」(講義)	筑波学院大学 経営情報学部 教授 大島慎子 氏		
3月21日 (水)		講座8「広報・PRマネージャーのためのWebとソーシャルメディア活用マネジメント」(講義)	クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 雨宮和弘 氏		

広報PRアカデミー2011

PRプランナー試験対応講座に受講者集まる

教育委員会

広報・PRに関する実用的な資格としていっそう人気の高まるPRプランナー認定制度。さる1月21日には第9回3次試験が実施され、約170名の受験者がニュースリリースの作成と広報・PR計画の立案に関する能力の検定に挑戦しました。また、3月4日には、第10回1次試験の実施が予定されており、東京、大阪、福岡の試験会場に400名を超える受験申込みが寄せられています。多数の志望者によるPRプランナーの資格取得を支援するため、協会ではPRプランナー試験対応講座を開講しています。この12月～1月には「3次試験対応講座」、1月より「1次試験対応講座」を開講しており、多数の受講者が参加しました。

■Web受講システムが人気を集めた「3次試験対応講座」



この冬の「3次試験対応講座」は、昨年12月6日に開講、「ニュースリリースの作成」「広報・PR計画の立案作成(マーケティング課題)」「広報・PR計画の立案作成(コーポレート課題)」の3つの分野にわたって2回ずつ、全6回の講座を行いました。

「ニュースリリースの作成」講座は、株式会社ミラ・ソルの田代 順氏、「広報・PR計画の立案作成」のマーケティング課題では株式会社インテグレート赤坂の赤坂幸正氏、コーポレート課題では株式会社電通パブリックリレーションズの

岡本純子氏と、いずれも経験の深い3人のベテランが講師を担当、合格をめざす受講者を対象に熱のこもった講義が行われました。

昨年夏の前回講座より開始したWeb受講システムは、パソコンさえあれば場所や時間に制約されず受講を可能としたため、前回は大きく上回る約60名の受講者を集めました。インターネットの時代に対応した新しい受講システムとしての利便性が評価されたことから、教育委員会では運営に関する研究を深め、今後は他講座における利用についても検討していきます。

■「1次試験対応講座」は受講受付中！

1月31日より、3月4日の1次試験に向けた「1次試験対応講座」を開講しました。寒風の吹く厳寒の夜にもかかわらず初日の講座では会場に約20名の受講者が参加、1次試験で問われる幅広い分野における基本概念の解説に対して真剣に耳を傾ける姿が目立ちました。

講師は株式会社プロペラ・コミュニケーションズの永井昌代氏、PR協会事務局の真部が担当、試験直前の2月28日までの毎週水曜日の夜間にのべ5回にわたる講義を行います。

「3次試験対応講座」と同じWeb受講システムは本講座でも採用されており、時と場所を選ばぬ学習と保存された講義内容の集中的な動画視聴を可能としています。

協会では受講を継続して受付けていますので、ご希望の方は以下の協会Webサイトよりお申込みください。

<http://event.prsj.or.jp/event/upper>



日本記者クラブ恒例「予想アンケート」 2012年はどうなる？

日本記者クラブは、毎年、新年会の余興として「今年はどんな年に??？」——という「予想アンケート」を行っています。2012年の予想項目は以下のようです。はたしてどうなるか。あなたの予想はいかがでしょうか？！

- | | | | |
|---|-------------------------------|-----|------|
| ① | 12月31日現在のわが国の首相はだれか | | |
| ② | わが国で衆議院の解散が | ある | ない |
| ③ | 税率と実施年月日を定めた消費増税法案が成立 | する | しない |
| ④ | 外国為替市場で円高が進み、1ドル=60円台に突入することが | ある | ない |
| ⑤ | ユーロ圏からギリシャの離脱決定が | ある | ない |
| ⑥ | 米大統領選挙でオバマ大統領が再選 | される | されない |
| ⑦ | 全国すべての地域で計画停電を回避 | できる | できない |
| ⑧ | iPS細胞の山中伸弥・京都大学教授がノーベル賞を受賞 | する | しない |
| ⑨ | 大相撲で日本人横綱が誕生 | する | しない |
| ⑩ | ロンドン五輪でなでしこジャパンが金メダルを獲得 | する | しない |

※ ちなみに2011年予想アンケートとその結果は以下のとおりでした。

- | | | |
|---|--|-------|
| ① | 12月31日現在のわが国の首相は誰か | 野田佳彦 |
| ② | わが国で衆議院の解散、総選挙が | ない |
| ③ | 東京都知事選挙で当選するのは誰か | 石原慎太郎 |
| ④ | 外為市場で円安が進み、一時、1ドル=100円台を付けることが | ない |
| ⑤ | 政府はTPP（環太平洋パートナーシップ協定）への参加表明を閣議決定 | しない |
| ⑥ | 北朝鮮の核問題をめぐる六カ国協議が再開 | されない |
| ⑦ | 「内部告発サイト」ウィキリークスが活動を停止 | する |
| | ※ 創設者、ジュリアンアサンジが資金不足を理由に情報公開活動を一時停止すると発表 | |
| ⑧ | 作家の村上春樹氏がノーベル文学賞を受賞 | しない |
| | ※ 受賞者はスウェーデンの詩人、トーマス・トランストロム氏が受賞 | |
| ⑨ | 気象庁が発表する日本の最高気温が更新 | されない |
| ⑩ | 日本ハムに入団した斎藤佑樹投手が新人王を獲得 | しない |
| | ※ セ・リーグは沢村拓一投手(巨人)、パ・リーグは牧田和久投手(西武)が受賞 | |

※ 上記は、日本記者クラブ、ホームページより紹介しました。

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2011年12月度

(株)エレクトロニック・ライブラリーは、2011年12月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、12月に発行された新聞96紙・雑誌約100誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約263万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2011年12月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	10.61	東日本大震災	6位	4.03	環太平洋経済連携協定
2位	6.12	原発事故	7位	3.89	欧州危機
3位	5.82	除染	8位	3.59	復興財源
4位	5.81	欧州金融安定化基金	9位	3.56	債務問題
5位	5.00	野田政権	10位	3.53	福島第一原子力発電所

■ 2011年12月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	3.73	デクシア	6位	1.80	ソシエテ・ジェネラル
2位	2.41	オリンパス	7位	1.79	大王製紙
3位	2.05	欧州中央銀行	8位	1.77	フェイスブック
4位	1.83	ディー・エヌ・エー	9位	1.67	ECB
5位	1.81	東京電力	10位	1.63	BNPパリバ

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートレンド」として毎週水曜日に発表しています。
詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

「2012年の注目キーワード」と 「2011年のキーワード・ランキング」 ELトレンド指数で、(株)エレクトロニック・ライブラリーが分析

(株)エレクトロニック・ライブラリーは、「2012年の注目キーワード」を発表し、2012年の世相を予想しました。

また「ELトレンド指数でみる2011年のキーワード・ランキング」を示し、新聞・雑誌記事に含まれたキーワードで2011年を総括します。これらは、同社が提供するデータベース「ELNET」に登録されているキーワード約235万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」などにに基づき、1992年以来、毎年まとめています。それぞれの内容は次の通りです。

■ ELトレンド指数で予測する「2012年の注目キーワード 10」

(順不同)

政治	増税 / 衆院解散 / 大統領選挙
経済・産業	TPP / 欧州危機 / 原子力発電 / スマートシティ
社会・その他	ロンドン五輪 / 東京スカイツリー / 放射性物質

■ ELトレンド指数でみる「2011年のキーワード・ランキング」

2011年をキーワードで表現してみました。表のとおりです。毎週水曜日に「ELウィークリートレンド」として発表しているランキング表およびTOP3のグラフに基づいています。

(毎週の発表は<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>をご参照ください)

＜ 2011年 ELトレンド指数ランキング(1~12月) ＞

順位	キーワード	トレンド指数最高値	順位	キーワード	トレンド指数最高値
1位	東日本大震災 (3月第2週)	44.60	9位	国民投票 <ギリシャ> (10月第5週)	5.88
2位	リビア (2月第3週)	10.71	10位	鳥インフルエンザ (1月第4週)	5.18
3位	エジプト (1月第5週)	8.16	11位	損失隠し (11月第1週)	5.09
4位	ビンラーディン, ウサマ (5月第1週)	7.78	12位	野田佳彦 (8月第4週)	5.03
5位	浜岡原子力発電所 (5月第2週)	7.72	13位	玄海原子力発電所 (7月第1週)	4.77
6位	クライストチャーチ<地震> (2月第3週)	6.20	14位	高速鉄道 <中国> (7月第4週)	4.45
7位	入試問題 <カンガ> (2月第4週)	6.65	15位	洪水 <タイ> (10月第4週)	4.42
8位	なでしこジャパン (7月第4週)	6.65	※2011年12月21日までに発表のランキングが対象となります。		

※上の表では、2週以上にわたり上位に登場したキーワードは、トレンド指数が最高値をマークした週を表示しました。

また、同内容と見なされるキーワードが複数存在する場合は、代表的なキーワードを採用しました。

なお、ELトレンド指数の説明や発表内容の詳細は

<http://www.elnet.co.jp/el/keyword/index.html> をご参照ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載

2011年度 広報PRアカデミー実施要項

コース	コース・コンセプト	対象者レベル	実務経験年数	講座名	講座コンセプト	時期	期間
入門・基礎コース	広報・PRに関する基本的な知識やスキルを習得させ、上司や先輩の指導のもとに業務を遂行できる基礎的な実務能力を育成する。	PR会社や広報セクション等に入社、配属された新任もしくは経験の浅い広報・PR業務の担当者。	0～2年	広報・PR入門講座	講義や演習、ケーススタディの紹介等の多彩なカリキュラムを通して広報・PRに関する基本的な知識やスキルを総合的に習得する基礎講座。	4月中旬	全日/5日間連続
中級コース	日常的に生ずる広報・PRの課題に、自身の判断で適切かつ効果的な対応を行うことができる、より高度な実務能力を育成する。	上司や先輩の助言なしに日常的な業務を遂行できる能力を有する担当者。	2～5年	メディアリレーションズ集中講座 (旧 広報PR実務講座)	新聞、雑誌、テレビ、ネット系メディアの第一線で活躍する現場キーマンを講師に招き、それぞれのメディアの特性、方針、業務や体制の実際や記者へのアプローチ法等に関するアドバイスをいただき、多様なメディアへの対応能力の向上をはかる実務講座。	7月	半日/2日間(午後～夜間)
			3年以上	スキルアップ・コース	ニュースリリースの作成、日常的なメディア対応、非常時におけるメディア対応等、現場実務の担当者のメディア対応能力の強化をはかる技能養成講座。	10月	半日/3日間
上級コース	広報・PRの実務を通じて経営者や上司を補佐するとともに、グループをマネジメントして組織的かつ計画的に企業・団体の広報・PR業務を推進できる能力を育成する。	経営や事業における課題を認識しその解決に向けて自身の判断で広報・PR業務を遂行できる能力を有する担当者。	5年以上	マネジメントコース	大学教員等の学識者や現役の広報マネージャー、各分野のスペシャリストを講師に招き、講義や演習を通じて広報・PR業務マネジメントに必要な幅広い知識、スキル、考え方を体系的に習得する広報・PRマネージャー養成講座。	11～3月	各120分/隔週12回(夜間)
PRプランナー試験対応コース	広報・PRに関する知識やスキルを習得させ、PRプランナー資格認定・検定制度試験を合格できる実力を育成する。	広報・PR業務に興味を持ち、PRプランナー試験の合格をめざす者。	0年～(学生可)	1次試験対応講座	PRプランナー1次試験合格をめざし、テキストをベースに広報・PRに関する基本的な知識、考え方を習得する講座。	7～8月/1～2月	各150分/週一5日間(夜間)
			3年以上	3次試験対応講座 (旧 広報ジュニア・カレッジ)	PRプランナー3次試験合格をめざし、実務にも役立つニュースリリースの作成法、広報・PR計画の立案法を高度なレベルで習得する講座。	6～7月/12～1月	各150分/週一6日間(夜間)

※詳細につきましては、順次当協会ホームページ (<http://www.prsj.or.jp>) で発表いたします。

※カリキュラムは変更する場合があります。ご了承ください。